



平成27年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月5日

上場取引所 東

上場会社名 ティーライフ株式会社

コード番号 3172 URL <http://www.tealifeir.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 植田 伸司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 鈴木 守

TEL 0547-46-3459

四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年7月期第1四半期の連結業績(平成26年8月1日～平成26年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年7月期第1四半期	1,538	17.8	△2	—	0	△99.7	3	△82.4
26年7月期第1四半期	1,306	—	39	—	44	—	20	—

(注) 包括利益 27年7月期第1四半期 7百万円 (△74.4%) 26年7月期第1四半期 29百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年7月期第1四半期	0.86	—
26年7月期第1四半期	4.91	—

(注) 当社は、平成25年7月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年7月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
27年7月期第1四半期	4,500	—	3,543	78.7	833.83	—		
26年7月期	4,481	—	3,642	81.3	857.08	—		

(参考) 自己資本 27年7月期第1四半期 3,543百万円 26年7月期 3,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年7月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年7月期	—	—	—	—	—
27年7月期(予想)	—	0.00	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年7月期の連結業績予想(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,619	20.3	220	18.9	225	15.7	134	15.9	31.69
通期	7,190	19.6	564	46.2	575	49.2	343	52.8	80.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年7月期1Q	4,250,000 株	26年7月期	4,250,000 株
② 期末自己株式数	27年7月期1Q	57 株	26年7月期	57 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年7月期1Q	4,249,943 株	26年7月期1Q	4,249,943 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う個人消費の回復の遅れや、円安による原材料価格の上昇、海外景気の下振れ懸念など不安要素があったものの、企業収益や雇用情勢などに改善が見られ、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループ（当社及び連結子会社）が属する小売・卸売業界におきましては、消費増税による家計負担増加に伴う消費者の節約志向に加え、業種・業態を問わず低価格競争が激化しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、中期経営計画（平成27年7月期～平成29年7月期）において「差別化戦略の推進・将来への布石・強固な経営基盤の構築」を経営方針として掲げ、商品・企画・サービスレベルの向上による競争優位の創造、顧客開拓・M&Aなど成長に寄与する分野への先行投資、販売チャネルの共有・資金の有効活用によるグループ経営の効率化に取り組んでまいりました。

なお、当第1四半期連結会計期間において、株式会社ダイカイの全株式を取得したことにより、当第1四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,538百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

損益面では、営業損失は2百万円（前年同期は39百万円の営業利益）、経常利益は0百万円（同99.7%減）、四半期純利益につきましては3百万円（同82.4%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益又は損失については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

（小売事業）

小売事業では、ネット広告をはじめ効率の良い媒体に適時、原資を集中投下するとともに、広告表現の改良に取り組み、顧客の拡大、開拓効率の向上に努めたほか、コールセンターを活用した販売促進策を実施し、安定した収益の基礎となる定期会員の確保に努めてまいりました。また、お茶を中心とした自社製造商品のサンプル配布やスムージーなど話題性のある健康飲料の品揃え拡充、秋の味覚などの季節商品の投入に加え、子会社の主力商品を活用した販促企画、お客様から高い支持を得ている商品券セール（商品券、未使用の切手・ハガキ等の手持ちの金券で買い物ができる企画）など独自の商品やサービスの展開により、他社との差別化に努めてまいりました。

しかしながら、消費増税の影響が長引いたことに加え、定期会員の確保に向けた各種費用への先行投資などにより、売上高は1,012百万円（前年同期比1.6%減）、セグメント利益は9百万円（同80.3%減）となりました。

（卸売事業）

卸売事業では、株式会社ダイカイが加わったことにより生活雑貨の品揃えが飛躍的に増加したほか、欧州ブランドの日本市場での認知度向上や国内市場にマッチしたオリジナル商品の開発に取り組んでまいりました。また、テレビ通販番組内でのプレゼンテーションや小売店での売場づくりなど、商品の効果的な販売方法の研究を進め、取引先への提案力を強化してまいりました。また、展示会への出展による新たな取引先の開拓に加え、グループ内小売事業への商品供給など販売チャネルの拡大に努めてまいりました。

この結果、売上高は525百万円（前年同期比89.9%増）と伸長したものの、キッチン用品の販売が振るわなかったほか、販売費及び一般管理費が増加し、セグメント損失は13百万円（前年同期は6百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、4,500百万円（前連結会計年度末比19百万円増）となりました。

流動資産の増加（同31百万円増）は、主に現金及び預金が292百万円減少したものの、たな卸資産が157百万円、受取手形及び売掛金が154百万円増加したことによるものであります。

固定資産の減少（同11百万円減）は、主にのれんが15百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、956百万円（前連結会計年度末比118百万円増）となりました。

流動負債の増加（同125百万円増）は、主に未払法人税等が61百万円減少したものの、買掛金が93百万円、賞与引当金が43百万円増加したことによるものであります。

固定負債の減少（同7百万円減）は、主にその他が9百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,543百万円（前連結会計年度末比98百万円減）となりました。

純資産の減少は、主に利益剰余金が102百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は78.7%（前連結会計年度末は81.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年9月5日の「平成26年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（連結の範囲の重要な変更）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、株式会社ダイカイクの全株式を取得したことにより、当第1四半期連結会計期間から、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,367,709	1,075,445
受取手形及び売掛金	602,978	757,786
有価証券	332,114	332,153
たな卸資産	541,957	699,356
未収還付法人税等	3,772	892
その他	59,121	76,553
貸倒引当金	△9,891	△13,258
流動資産合計	2,897,762	2,928,928
固定資産		
有形固定資産	323,484	322,221
無形固定資産		
のれん	199,509	184,162
その他	102,261	91,891
無形固定資産合計	301,770	276,054
投資その他の資産		
投資有価証券	526,529	539,807
その他	434,723	436,763
貸倒引当金	△3,149	△3,335
投資その他の資産合計	958,103	973,235
固定資産合計	1,583,358	1,571,511
資産合計	4,481,120	4,500,440
負債の部		
流動負債		
買掛金	174,643	268,144
未払法人税等	77,009	15,210
賞与引当金	33,773	77,351
役員賞与引当金	10,120	460
ポイント引当金	13,622	13,160
その他	273,781	334,375
流動負債合計	582,949	708,701
固定負債		
退職給付に係る負債	38,796	40,518
その他	216,833	207,451
固定負債合計	255,629	247,969
負債合計	838,579	956,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	356,625	356,625
資本剰余金	326,625	326,625
利益剰余金	2,924,922	2,822,401
自己株式	△34	△34
株主資本合計	3,608,137	3,505,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,403	38,150
その他の包括利益累計額合計	34,403	38,150
純資産合計	3,642,541	3,543,768
負債純資産合計	4,481,120	4,500,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年8月1日 至 平成26年10月31日)
売上高	1,306,195	1,538,333
売上原価	442,845	589,332
売上総利益	863,349	949,001
販売費及び一般管理費	824,203	951,906
営業利益又は営業損失(△)	39,146	△2,904
営業外収益		
受取利息	994	815
受取配当金	205	321
その他	4,717	3,038
営業外収益合計	5,918	4,176
営業外費用		
支払利息	7	380
支払保証料	—	607
支払手数料	98	98
その他	100	58
営業外費用合計	206	1,145
経常利益	44,858	126
特別利益		
固定資産売却益	—	1,104
投資有価証券売却益	—	1,293
保険解約返戻金	—	10,782
特別利益合計	—	13,179
特別損失		
投資有価証券売却損	1	24
特別損失合計	1	24
税金等調整前四半期純利益	44,856	13,281
法人税等	23,987	9,600
少数株主損益調整前四半期純利益	20,868	3,680
四半期純利益	20,868	3,680

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年8月1日 至 平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,868	3,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,133	3,747
その他の包括利益合計	8,133	3,747
四半期包括利益	29,002	7,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,002	7,427
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,029,454	276,740	1,306,195	—	1,306,195
セグメント間の内部売上高又は振替高	188	2,117	2,306	△2,306	—
計	1,029,643	278,858	1,308,501	△2,306	1,306,195
セグメント利益又は損失(△)	45,793	△6,645	39,148	△2	39,146

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年8月1日至平成26年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,012,737	525,596	1,538,333	—	1,538,333
セグメント間の内部売上高又は振替高	81	7,570	7,651	△7,651	—
計	1,012,818	533,166	1,545,985	△7,651	1,538,333
セグメント利益又は損失(△)	9,028	△13,134	△4,106	1,201	△2,904

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,201千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3. 当第1四半期連結会計期間において、株式会社ダイカイの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日と比べ、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「卸売事業」セグメントにおいて322,424千円増加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。